

# 平成30年度 学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー

【テーマ:性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進】

## パネルディスカッション資料

(モデレーター・資料作成)

齋藤 憲司 氏(東京工業大学 保健管理センター 教授／日本学生相談学会理事長)

(パネリスト)

三浦 徹 氏(お茶の水女子大学 理事・副学長)

高野 明 氏(東京大学 学生相談ネットワーク本部 准教授)

河野 禎之 氏(筑波大学 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 助教)

# 【テーマ：性的指向・性自認の多様なあり方の理解増進】

## （パネル：検討の枠組）

\* 所属校の概略（規模・学部構成・校風・学生の特性etc）  
～大学等の個別性～

1. 性的指向・性自認に対する学内の意識・理解  
～学生・教職員・その他（保護者など）～
2. 相談・対応システム、啓発の現状と課題  
～できれば全体像を図示～
3. 実際の相談・対応で困ったことや工夫して良かったこと  
～事例に基づいて/さわらない範囲で（守秘）～
4. 今後進めたい施策と大学の将来像  
～多様性が尊重されるキャンパスへ～  
＝お互いの経験や戸惑いに学びながら・・・＝

# 【テーマ：性的指向・性自認の多様なあり方の理解増進】（事前質問から：その①）

\* たくさんのご質問・ご意見をありがとうございました！  
（再構成しての提示）

1. 性的指向・性自認への「理解」「啓発」に係る先進事例を
  - ～・多様性への理解をいかに？ ・海外の取組み？
  - ・当事者の悩みとは？ ・周囲の学生への啓発？
  - ・障害に係る合理的配慮とは異なる？
  - ・女子大における対応と判断基準？
2. 配慮のあり方（方針・構え）
  - ～・対象者に対する望ましい支援のあり方
  - ・本人の申し出がなければ・・・/大学としてどう把握・対応？
  - ・居心地が良いと思える環境づくり（個別支援＋意識共有）
  - ・周りの学生への説明の仕方

# 【性的指向・性自認】(事前質問から:その②)

## 3. 配慮のあり方(性別記載、通称使用)

- ・健康診断時の問診票 ・学籍登録 ・アンケート調査  
～性別カット? 他の項目?(その他, 答えたくないetc)  
性差の検討が必要な場合は?
- ・通称名の使用範囲・確認方法(診断書?)

## 4. 配慮のあり方(設備) ⇨予算・補助金?

- ～・トイレや更衣室をいかに?(多目的トイレの増設?)
- ・合宿etcで個室を? (⇨他の学生への説明..)
- ・居心地が良いと思える環境づくり(施設・設備etc)

## 5. 配慮のあり方(実習、就職支援)

- ～・各種実習での配慮(実習先と連携? 対象者の特性による?)
- ・就職活動にて開示することの是非(受入側の理解?)  
⇨ 開示しなくて良いと指導? 開示したい学生には?
- ・就職先との連携(採用活動-内定-就労に至るまで)